

在来のチョウを守るため 全国初確認ムシャクロツバメシジミ の駆除大作戦を実施しました

4月5日(土)、西区新川河川敷にて日本で初めて繁殖が確認された外来種のチョウ「ムシャクロツバメシジミ」の分布拡大を防ぐため、地元住民のほか、全国からの参加者、専門家等230人が駆除活動を行いました。

台湾や中国が原産のこのチョウが広がると、日本にすむ希少なチョウと交雑したり、この地域の生態系に悪影響を与える恐れがあるとして駆除を実施。駆除の方法は、チョウのエサや産卵場所となるツルマンネングサを土ごとスコップや熊手を使ってひっくり返しました。

当日は、ムシャクロツバメシジミやツルマンネングサの生態などについて東京大学総合研究博物館の矢後勝也さんはじめ3人の方に講演いただき、しっかり勉強した後、河川敷に移動して駆除活動を行いました。

この日の活動で、多くのツルマンネングサをひっくり返すことができましたが、今後数カ月間は、名古屋昆虫同好会をはじめチョウの愛好家の皆さまのご協力をいただきながら、モニタリングをしていきます。



外来種
ムシャクロツバメシジミ



まずは生態などについてしっかり勉強



駆除活動の様子

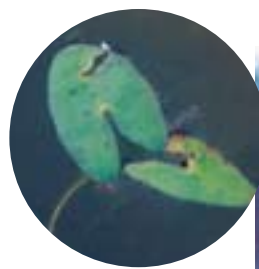
マルタニシ ～名古屋市内で 10年ぶりに確認されました～

前号(10号)において名古屋市内から絶滅した可能性が高いマルタニシを紹介しました。

一昨年以来市民の方々からタニシ類の情報が多く寄せられました。情報のほとんどはヒメタニシでしたが、採集していただいたサンプルを同定していたところ、ついに中川区の二つの地点からマルタニシが見つかりました。およそ10年ぶりの発見です。最近新たに侵入した可能性もありますが、ひっそりと絶滅を免れて生き延びてきた可能性もあります。今夏詳細な現地調査を行う予定です。情報を提供していただきました方々にお礼申し上げます。(名古屋行動植物実態調査検討会委員 川瀬 基弘)



マルタニシ



水面に浮葉を展開するオニバスの幼株



名古屋城外堀に設置した看板

市内では20年ぶりとなるオニバスの確認については、ニュースレター6号・7号・8号・9号でもご報告しています。

◎オニバスの生育状況によっては確認できないこともあります。
◎お堀の中に入らず、歩道等から観察してください。

2012年11月に名古屋城外堀で20年ぶりにオニバスが確認されました。

名古屋生物多様性センターとなごや生物多様性保全活動協議会では、保全や生育に関する情報を収集する目的で生育状況等を継続して調査しています。

また、『広く市民の皆さまにオニバスを見守っていただきたい』という思いから、なごや生物多様性保全活動協議会では啓発看板を作成し、名古屋城外堀のフェンスに設置しました。

5月末から6月上旬頃にオニバスの幼株が水面に浮葉を展開してくることを期待しつつ、一緒に見守っていきましょう!

(生物多様性専門員 中村 肇)

豊かな自然を次世代に引き継ぐために

名東自然観察会の前身である名東自然観察グループは、猪高緑地において1983年(昭和58年)、故朱雀英八郎氏により創設されました。1995年(平成7年)同観察グループの実績を名東自然観察会(代表:堀田守)が引き継ぎ、現在に至っています。

名東自然観察会では毎月第2土曜日に、猪高緑地(66.2ha)において自然環境を意識してもらうことをモットーとして自然観察会を開催しています。1999年(平成11年)には、谷地の地形と昔の里山環境を生かした田んぼの復元を提案し、棚田の自然環境と里山文化との関わりを伝えようと米作り体験講座もはじめました。景観や自然環境は森の保全作業により保たれ、田んぼではメダカやカエルなどいろいろな生き物も増えています。一方で、絶滅危惧種に指定されている野草や動物・昆虫・両生類等を捕まえて持ち帰る人、ほかの地区よりメダカ・ホタル・オコチパス等を持ち込んでくる人など、マナー違反の方々が増えています。このような現実にも悩みながら保全活動を続け、その現状を伝えていきます。

今後里山の豊かな自然を次世代に引き継ぐため、自然観察会などを通して身近な自然に親しむ楽しさを感じてもらいながら、都市部に残された自然環境保全の問題点を伝えていきたいと思います。



復元された棚田の航空写真



田んぼ周辺で取れたタモロコ

掲示板

なごや生きもの一斉調査2014 ～アメリカザリガニ編～

開催日 平成26年 7月19日(土)・20日(日)・21日(祝・月)
午前9時30分～正午ごろ

調査場所 市内のため池や河川 20カ所
対象 小学生以上(小学生は保護者同伴)
定員 各調査地点 15名程度
申込締切 平成26年7月4日(金) 必着

※定員に満たない場合は継続募集しますので、お問い合わせください
申込先 なごや生物多様性保全活動協議会(事務局:なごや生物多様性センター)

※調査コース、お申し込み方法など詳細は、なごや生物多様性保全活動協議会ウェブhttp://www.bdnagoya.jp または募集要項をご確認ください。

なごや生物多様性保全活動協議会では、特定の生きものを選び、多くの市民の皆さんとともに、市内の生きもの一斉調査を実施しています。過去には野鳥・陸貝・オオキンケイギクの調査を行いました。

「市民生きもの調査員」に登録しませんか?(どなたでも登録できます) 詳細はウェブサイトへ!

問い合わせ・申し込み先

住所 名古屋市中白区元八事五丁目230番地(地下鉄塩釜駅2番または3番出口から徒歩5分)
電話 052-831-8104 FAX 052-839-1695
E-mail bdnagoya@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp



- なごや生物多様性センターウェブサイト
http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/biodiversity
- なごや生物多様性センター Facebookページ(どなたでもご覧いただけます)
https://www.facebook.com/bdnagoya
- 名古屋公式ウェブサイト
http://www.city.nagoya.jp/ 検索
- なごや生物多様性保全活動協議会 http://www.bdnagoya.jp

平成26年度 定例観察会開催日		
日程	タイトル	テーマ
4月	春の花と昆虫	春の草花に昆虫はきてるかな?
5月	木々の新緑を見る	新緑の木々の色々を見てみよう
6月	田んぼと水辺	田んぼの生き物を探そう
7月	谷地田の生き物たち	森の中や水田をのぞいてみよう
8月	お休み	
9月	トンボの観察(区役所披露会)	どんなトンボがいるのかな?
10月	棚田あぜの生き物たち	水田周囲の草地を探してみよう
11月	渡り鳥はくるのかな?	塚の秋地で見よう
12月	冬越しの生き物たち	冬越しの昆虫を探してみよう
1月	春の七草	七草がゆの材料はあるかな?
2月	冬芽のちがひ	寒さに耐える木々の芽を見てみよう
3月	春を感じよう	鳥・虫・花は動きははじめたかな?

日時 毎月第2土曜日。午前9:30～12:00
開催場所 猪高緑地 集合場所 名東生涯学習センター前広場
参加費 100円(保険・資料代)
持ち物 お持ちであれば虫眼鏡、双眼鏡、植物や昆虫や鳥などの図鑑
申込等 事前申し込み不要(雨天でも開催・警察発令時は中止)。問合せTEL&FAX052-704-1196(堀田)まで都合により日程・テーマの変更もありますので、参加希望の方は念のためご連絡ください。なお、観察会開催中は、集合地点に自然観察会の旗を掲示しています。定例の観察会とは別に、「田んぼ体験講座」も開催しています。詳しくは、なごや環境大学ウェブサイトでご確認ください。

参加者募集

身近な水辺にすむエビ・カニを調べてみませんか?

今回の一斉調査では、アメリカザリガニを中心とした水辺の生きもの(甲殻類)を調査し、アメリカザリガニの侵入状況や甲殻類の生育状況を明らかにします。

なごやの水辺で見られるエビ・カニ(甲殻類)の代表的なもの



アメリカザリガニ



モクスガニ



テナガエビ

なごや生物多様性保全活動協議会とは
市民・専門家・行政からなる協働組織。なごやの生物とその生息・生育環境について調査・保全活動を実施しています。

生きものシンフォニー

なごや生物多様性センター

いのちがやくなごや

11号

平成26年6月

みて ふれて 体感する「いのちのつながり」

第1回 なごや生物多様性センターまつり

第1回『なごや生物多様性センターまつり』が5月10日(土)に開催されました。当日は、お子さまから年配の方まで2,100人が来場し、生物調査で収集したカメやサカナの展示、子どもも大人も参加できるワークショップなど、さまざまな企画で「いのちのつながり」を体感しました。



クモの卵をのぞいてみたら(名古屋南高校生物・化学部) 開会の挨拶後、ブースをまわって説明を聞く河村たかし市長。



見事な晴天のもと
5月10日(土)開催しました!





生物多様性 マルシェ

生物多様性や、旬産旬消に配慮して生産された野菜・果物などを紹介
オアシス21オーガニックファーマーズ 朝市村&仲間たち



だなも

不思議と驚きがいっぱい!

オープニング

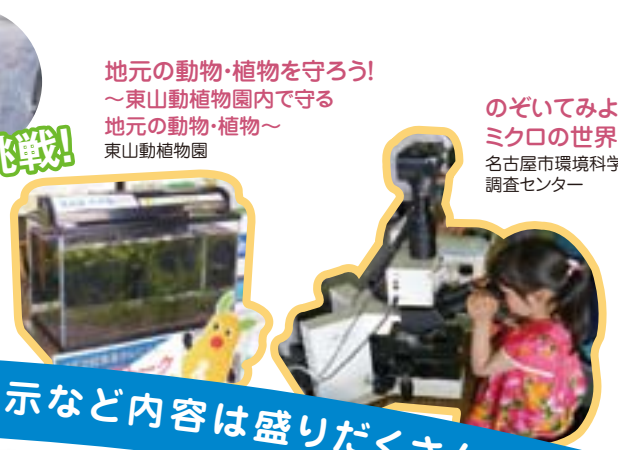
植田中学校吹奏学部の皆さんによるミニコンサート。その後、河村市長が開会のスピーチをして、いよいよおまつりがスタート!!



エコバルなごやワークショップ
名古屋市環境学習センター



ポトルアクアリウムを作ろう!
～自然科学部の研究発表もあるよ～
名城大学附属高校



地元の動物・植物を守ろう!
～東山動植物園内で守る地元の動物・植物～
東山動植物園

のぞいてみよう!
ミクロの世界
名古屋市環境科学調査センター

第1回 なごや生物多様性センターまつり

クラフトづくりや生きものの観察体験、昆虫の標本展示など内容は盛りだくさん

普段なかなか接することができない、生きものや自然のこと。そんな興味いっぱいのことを、遊びながら楽しく学ぶ1日となりました。

屋外 作って楽しむワークショップや、生物多様性に配慮した取組を行うブースがスラリ!



ブラックバスの試食
なごや生物多様性保全活動協議会



森パー連の活動紹介
なごやの森づくりパートナーシップ連絡会



松ぼっくりで名古屋名物エビフライを作ろう
相生山緑地オアシスの森くらぶ



イモリの赤いお腹、見えたかな?

イモリ博士
世界淡水魚園水族館「アクアト きふ」



NO COFFEE, NO LIFE
～もっとコーヒーがおいしくなる話～
ボンタイン珈琲本社



名商ecoクラブの活動紹介
名古屋商工会議所・名商ecoクラブ



サザエの貝殻を輝かせよう!
フィルムケースを使ってオカリナを作ろう!
昭和高校理化部



あなたの暮らし×仕事×生物多様性
名古屋市環境局環境活動推進課



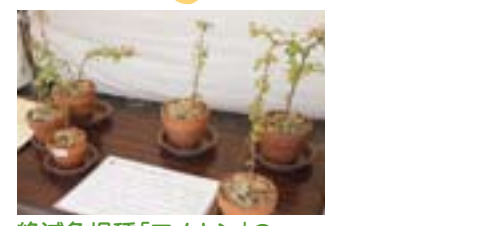
いのちあふれる山崎川
名古屋経済大学高蔵高校理科部



島田湿地の生きものたち
白玉草と八丁とんぼを守る島田湿地の会



春の干潟は生きものがいっぱい!
藤前干潟を守る会



絶滅危惧種「マメナシ」の保全など一緒に楽しみませんか
愛知守山自然の会



作って遊ぼう ヒメボタルかるた
相生山緑地自然観察会



八事チアーズの活動紹介
イオン八事店



小さな生き物から教習を学ぶ
中部蜘蛛懇談会



名城大学アカベラサークル「はもりね」
息のあったハーモニーが会場を包み込みました。



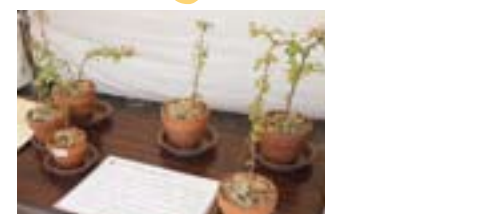
生物多様性に配慮した緑化の紹介
伊勢・三河流域ネットワーク(エスベックミック)



チリメンモンスターをさがせ!
山崎川グリーンマップ&伊勢・三河流域ネットワーク



活動紹介
山崎川グリーンマップ&伊勢・三河流域ネットワーク



絶滅危惧種「マメナシ」の保全など一緒に楽しみませんか
愛知守山自然の会



名古屋城外堀ヒメボタルの季節がやってきましたよ!
名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち



外来種について
なごや外来種を考える会



博物学を愛する者の集い
NAS



森の恵のクラフト、ダンゴムシリリース、紙細工(トンボ・カミキリ・チョウ)
なごや東山の森づくりの会



きて!みて!ふれて!たのしい!おいでよ たけすい
竹島水族館



生きものと共生する地域づくりに取り組む企業です!
地域環境計画



名城大学アカベラサークル「はもりね」
息のあったハーモニーが会場を包み込みました。

パネル展示

パネルで学ぶ環境への取組



ESDユネスコ世界会議まであと半年!
ESDユネスコ世界会議あいちなごや支援実行委員会
水の環境復活に向けて
名古屋市環境局地域環境対策課
レジ袋とウミガメ
名古屋市環境局減量推進室
愛岐の森の里山づくり
名古屋市愛岐分場
移動ヤマネコ展
環境省対馬野生生物保護センター
みんなで守ろう なごやの生きものたち
なごや生物多様性保全活動協議会
なごや生物多様性センター
なごやで見られる淡水の生きものたち
三河淡水生物ネットワーク

設備棟

生きものの展示や環境に関する情報・取組などを発信



ウナギの赤ちゃんを観てみよう
名古屋市科学館



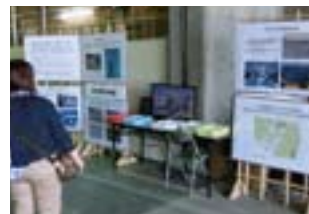
昆虫の構造色と擬態について
東海中高生物部



向陽高校科学部活動紹介
向陽高校科学部



活動紹介と昆虫標本の展示
名古屋昆虫同好会



都会の海の貴重な生物 スナメリ
名古屋水族館



名城大学野生動物生態研究会活動紹介
名城大学野生動物生態研究会



DNA情報と環境情報の統合的時空間解析:野生動物の集団構造、生息環境嗜好性、移動予測
名古屋市立大学生物多様性研究センター



「生物・人・自然の調和」について学べる
名城大学農学部生物環境科学科
名城大学農学部生物環境科学科

報告会

オーストラリア・ジロング市へ派遣された中学生の学習成果報告

はじめての報告会にちよつとドキドキ! 学習してきたことをしっかり発表しました。



屋外ブースでは、ジロング市の子どもたちとの交流の様子を展示しました。

まっすらためきの銀次郎
～岐阜県関市のアルビノタヌキ～
岐阜県博物館



生物多様性カフェ

同時開催

好奇心そそるお話に、みんな真剣に耳を傾けました。
「モンゴルで恐竜を掘ってみた」
西本昌司さん(名古屋市科学館学芸員)



「シデコブシ・ハナノキ・ヒトツバタゴの自然史」
糸魚川淳二さん(名古屋大学名誉教授)



特別編

身近な自然を体験 ～植田川川辺までフラッと散歩～

ゲスト:名古屋自然観察会会員
滝田久恵さん・佐藤裕美子さん
植田川川辺を歩き、実際に植物を眺めながら在来種・外来種の説明を受けました。

ペーパークラフトに挑戦!

ゲスト:NPO法人 nature works理事長 小村一也さん
人を自然に近づける「川いい会」主幹 石山郁恵さん
昆虫や小動物をじっくり観察しながら、不要なチラシを使ってハサミでチョキチョキ!

お楽しみがたのしみだったよ!

昆虫を捕まえたよ!

